



図書館員のオススメ

「ニッポンの風景」

島田アツヒト

一本の木からながめた時系列の絵本です。10年20年、時間の流れとともに発展する村が描かれています。大阪・住吉大社のクスノキがモデルで、原野から田園風景、開発が進んで都会になる様子が緻密に書き込まれてじっくり読みたい、大人も楽しめる絵本です。



～ 年末年始のお知らせ ～

本年も、たくさんの方に鹿追町図書館をご利用いただきありがとうございました。

来年もより一層、皆さまに利用していただける図書館を目指してまいりますので、よろしくをお願いします。

* 年末年始の休館日 *

12月30日(日)～1月5日(土)



～ お知らせ ～

冬になると、寒くてどうしても家の中にいることが増えてきます。

あなただけのお気に入りの一冊、新しい本でゆったりとくつろぎのひとときを過ごしてみませんか？

利用者の方一人ひとりのご希望に応えられるよう、さまざまな本を用意してお待ちしております。



『雪待月』

陰暦11月(陽暦12月頃)

然別湖において、12月は一年の中で一番静かな時期かもしれません。観光客のにぎわいから見ると夏シーズンと冬シーズンのちょうど狭間で、環境から見てもヒグマなど一部の野生動物は冬眠に入り、冬眠しない動物も活動時間が少なくなりません。夏に然別湖で子育てしていた夏鳥たちは既に南へ旅立ってしまった、木々の中は留鳥(年間を通してその地域に留まる野鳥)の姿だけ。その彼らも春に鳴くサエズリは歌わず、「地鳴き」という人間で言えば話し言葉のような目立たない声でお互い会話しています。

世間一般からすると、この様子は一見『地味な季節』に映ることでしょう。

然別湖に年中接している筆者から見ると、地味かもしれないけれどこれはこれで大切な季節。山は冬の装いに衣替えし、湖も夏のにぎわいの疲



針葉樹の森に雪が降り積もる

れを癒やすかのように深呼吸している気がします。とても落ち着いた毎日。

こつこつ切替えの時間というのは、人だけでなく自然にとっても必要なのでしょう。

本

格的な冬を目の前に、木々や動物、野鳥そして虫たちは、越冬に向けた準備があらかた整い、その時が訪れるのを待っているかのようになっています。エゾシカ達は夏の間個々に暮らしていましたが、晩秋のころから集まりだし群れを作るようになります。

然別湖周辺では、数頭から10頭くらいの群れが干し草の

ように枯れたフキをムシヤムシヤ食む姿がよく見かけられます。人を見つけても大して驚かず、ゆつくりと食事を続けます。そして人通りが少なくなつた道路へたまに出てきては、然別湖の温泉街をまるで観光客のごとく散策するようになつてきては、反対側の森に抜けていく姿が実に面白い。これもこの季節ならではの光景です。

寒

風が吹きすさび、星空の熱が星々へ吸い寄せられるように奪われ、しんと冷えるのに合わせて霜の音が聞こえてきそうです。

霜をまとつた草木と、シャリシャリと霜柱を踏みしめて雪を待つ日々。

雪は時に厄介な存在にもなりますが、厚く積もれば極寒から身を守ってくれる断熱材にもなります。地中や地面の植物の根や種子は、霜に耐えながら根雪が降るのをさぞ心待ちにしている事でしょう。雪と共に過ごしてきたこの地



霜をまとう草木

域では、雪は欠かせない存在です。

12月中旬から年末にかけて、森や湖が真冬の寒さに凍えないよう冬の眠りにつくころ、森には空から雪の毛布が、湖には氷の布団が静かにかけられます。

昨

年の平成23年、然別湖の全面結氷は12月19日でした。さて今年は何日に結氷するのでしょうか。

湖が結氷しだすころから、平成25年1月26日より開催の「2013しかりべつ湖コタ」の準備が始まります。

私の好きな本

「尾木ママの子どもの気持ち」が「わかる」すごいコツ

尾木直樹/著

教育評論家でもあり、さまざまなTV番組にも出演、「尾木ママ」の愛称で親しまれている尾木先生著書の本です。思春期の子を持つ親としては、いろいろと大変な場面が多々ありますが、とても幸せな時間でもあります。ぜひ読んでみてください。(A.Sさん)



▼ 一般教養書

- Steve Jobs Special ジョブズと11人の証言 / NHKスペシャル取材班
- いのちの使いかた / 日野原重明
- 小さく始めて1億売ったママ起業 私の方法 / 園田正世
- 持ち歩き花屋さんの花図鑑 / 井越和子

▲ 一般文芸書

- 自殺の国 / 柳 美里
- ノエル a story of stories / 道尾秀介
- ソロモンの偽証 全三部 / 宮部みゆき
- 上海、かたつむりの家 / 六六

文庫・新書

- あなたの知らない北海道の歴史 (歴史新書) / 山本博文
- JAL再建の真実 (講談社現代新書) / 町田 徹
- 夜桜 (光文社文庫) / 佐伯泰英
- ザ・ウーマン (扶桑社ミステリー) / ジャック・ケッチャム

絵本・児童書

- 1年生からひとりでお弁当を作ろう / 坂本広子
- クリスマスあったかスープ(パンダのポンポン) / 野中 柊
- シニガミさん2 / 宮西達也
- プレゼント / ポブ・ギル

■ この他にも新刊を用意しています。ぜひご来館ください。